

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220403	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	東日本大震災を契機とした震災復興学の確立	研究代表者 (所属・職) (平成28年3月現在)	山川 充夫（福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・客員教授）

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、東日本大震災後に設立された福島大学・うつくしまふくしま未来支援センターの専任職員が中心となって、産業復興、地域計画、地域コミュニティ、災害予測・防災の4つの観点から、原子力災害による復興過程を地元・生活者の視点を重視して記録、分析し、未来の災害に備えるための「震災復興学」の確立を目指すという的を絞った画期的総合研究である。</p> <p>明確な目的と、強い意志力、専門分野を超えたチームワークがこれまで発揮され、研究は順調である。</p> <p>今後は、福島県の産業復興では重要な要素である、農業（果樹・稲作）や観光振興への復興学も重視することが望まれる。また、データ分析を超えて、復興モデルの提唱や海外発信、社会還元の手法の提示が重要になると考えられる。</p>	